

当館に報告のあった主な邦人犯罪被害事例

1 置き引き（ナイトクラブ、スポーツジム、地下鉄車内、レストラン）

事例1：邦人女性がMeatpacking地区所在のナイトクラブで座席に自身の鞄を置いたまま踊っていたところ、戻ってくると鞄を置き引きされていた。

事例2：邦人男性がスポーツジム（53rd&Lex）のロッカーに鞄を保管していたが、ロッカーに戻ると鞄を盗難にあっていた。

事例3：邦人男性が地下鉄車内で居眠りをしていた間に自身の鞄を盗難にあった。

事例4：邦人女性がレストランの座席の背もたれに鞄を掛けていたところ、気付かない間に鞄を盗難にあっていた。

2 スリ（路上）

事例1：邦人男性がウォールストリートを徒歩で移動中に肩掛け鞄に入っていた財布をすられた。

事例2：邦人男性がタイムズスクエアを徒歩で移動中にズボンのポケットに入っていた財布をすられた。

3 メガネ詐欺・薬ボトル詐欺（タイムズスクエア近辺の店内、レキシントン通り）

事例1：邦人男性がタイムズスクエア近辺の衣料量販店で買物中に不自然に近づいてきた黒人男性と接触し、黒人男性からメガネが壊れたとして修理代を請求された。

事例2：邦人男性がミッドタウン地区レキシントン通りを徒歩で移動中に黒人男性と接触し、黒人男性の持っていた薬が入ったガラスの瓶が壊れたとして薬代を請求された。

4 傷害（地下鉄車内）

事例1：正午頃、邦人女性が地下鉄車内で座っていた際に、女性の向かいに座っていた黒人男性が突然立ち上がって女性の肩を強めに小突いた。黒人男性は駅到着後、降車して姿を消した（他に車内に乗客はいなかった）。

5 詐欺被害（IRS,インターネット）

事例1：邦人男性の自宅にIRSを名乗る人物より税金が未払いであるため、指定の番号に至急電話するようにとの電話連絡が頻繁に来るようになった。

事例2：邦人女性がインターネット掲示板を利用して家具を売却したところ、家具を買いたいと希望した人物が家具の費用よりも多額の金額の小切手を邦人女性に送付し、「秘書が誤った金額で郵送してしまったので、小切手はそのままあなたの口座に入金して、家具代を差し引いた額を自分に返金してほしい」と言われたため、差額を男性に送金したが、後に小切手が偽物と判明した。

6 空き巣

事例1：イーストビレッジ地区在住の邦人女性が、自宅（アパート）を不在にしている間に何者かが侵入し、ソーシャルセキュリティナンバーなどの個人情報が記載された書類を入れた封筒を盗難に遭った。